

アクサ生命 PRESS RELEASE

2015年8月31日

アクサ生命、『アクサの「外貨建て」の変額終身保険 アップサイドプラス』を 9月1日より販売開始

2種類の外貨(豪ドル・米ドル)と、「定額部分」と「変額部分」の組み合わせで、ご自身の将来のための資産形成と、万一のときのご家族のための備えを同時に実現

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ジャック・ドゥ・ペレティ)は、2015年9月1日より、『アクサの「外貨建て」の変額終身保険 アップサイドプラス』(正式名称:利率変動型定額部分付変額終身保険(通貨選択型))を11金融機関を通じて販売開始します。また10月1日より、専属営業社員および代理店を通じた販売も開始します。

この商品は、ご契約時に運用通貨を2種類の外貨(豪ドル・米ドル)から選択し、積極的な資産運用を目指しながら、一生の死亡保障を準備できる、外貨建ての変額終身保険です。運用期間満了時に、一時払保険料の100%(または110%)を外貨建てで最低保証する「定額部分」と、積極運用により、リスクをとりながら大きな運用成果を目指す「変額部分」により積立金を運用します。また、払いもどし金額がご契約時に定めた目標値に到達した場合は、早期に運用成果を確保します。

アクサ生命は、本商品の発売により、「保障と資産形成を再定義」する取り組みを強化し、死亡保障や資産形成の分野におけるお客さまのニーズにお応えし、最適なソリューションをご提供することによって、お客さまの安心でより良い人生の実現をサポートしてまいります。

『アクサの「外貨建て」の変額終身保険 アップサイドプラス』の主な特長



【特長 1】

2種類の外貨(豪ドル・米ドル)から通貨を選択

ご契約時に2種類の外貨(豪ドル・米ドル)から運用する通貨を選択。選択した通貨建てで、一生の死亡保障を準備します。また、死亡保険金を円貨で受け取ることも可能です。

【特長 2】

積極運用の「変額部分」と最低保証のある「定額部分」による2階建運用

運用期間中は、積立金額が特別勘定の運用実績によって定まる「変額部分」と、積立利率により経過に応じて計算される「定額部分」とに分けて運用。これにより、「ふやす楽しみ(積極運用)」と「へらない安心(最低保証)」を同時に目指すことができます。

【特長 3】

目標値(ターゲット)に到達した場合、早期に運用成果を確保

保険期間は、運用期間である「第1保険期間」と第1保険期間の積立金額をもとに一生の死亡保障を確保する「第2保険期間」で構成されます。第1保険期間において、払いもどし金額がご契約時に定めた目標値に到達した場合、自動的に目標値に到達した通貨建ての終身保険に移行し、早期に運用成果を確保します。

<契約取扱基準>

正式名称	利率変動型定額部分付変額終身保険(通貨選択型)
契約年齢	0歳～80歳
保険料払込方法	一時払
ご契約時の選択通貨	豪ドル／米ドルのいずれかを選択
保険期間	第1保険期間:20年、第2保険期間:終身
第1保険期間の基本保険金額	一時払保険料と同額(選択通貨建て)
第1保険期間満了日定額部分保証率	契約時の市場金利により基本保険金額の100%または110%
最低一時払保険料／取扱単位	選択通貨で払い込む場合、2万選択通貨以上、1,000選択通貨単位 ※保険料円入金特約により円で払い込む場合、200万円以上、1万円単位
最高保険金額	1契約5億円(相当額) ※一時払保険料相当額がアクサ生命に着金した日におけるアクサ生命所定の為替レートを用いて円に換算します。

<取扱金融機関>

取扱開始日	2015年9月1日
取扱金融機関	北海道銀行、北都銀行、新生銀行、富山銀行、但馬銀行、 鳥取銀行、福岡銀行、親和銀行、熊本銀行、大分銀行、宮崎銀行

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、228 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2014 年度には、2,813 億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 59 ヶ国で 16 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2014 年度通期の売上は 920 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングス(基本利益)は 51 億ユーロ、2014 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 2,770 億ユーロにのびります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～
アクサ生命保険株式会社 広報部
電話: 03-6737-7140 FAX: 03-6737-5964
<http://www.axa.co.jp>

【商品しくみ図】

特長1 2種類の外貨(豪ドル・米ドル)から運用通貨を選択

運用する通貨を豪ドル建て・米ドル建てからご契約時に選択します。保険料のお払込みや死亡保険金のお支払いなどは選択された通貨となります。



特長2 「定額部分」と「変額部分」の2階建運用

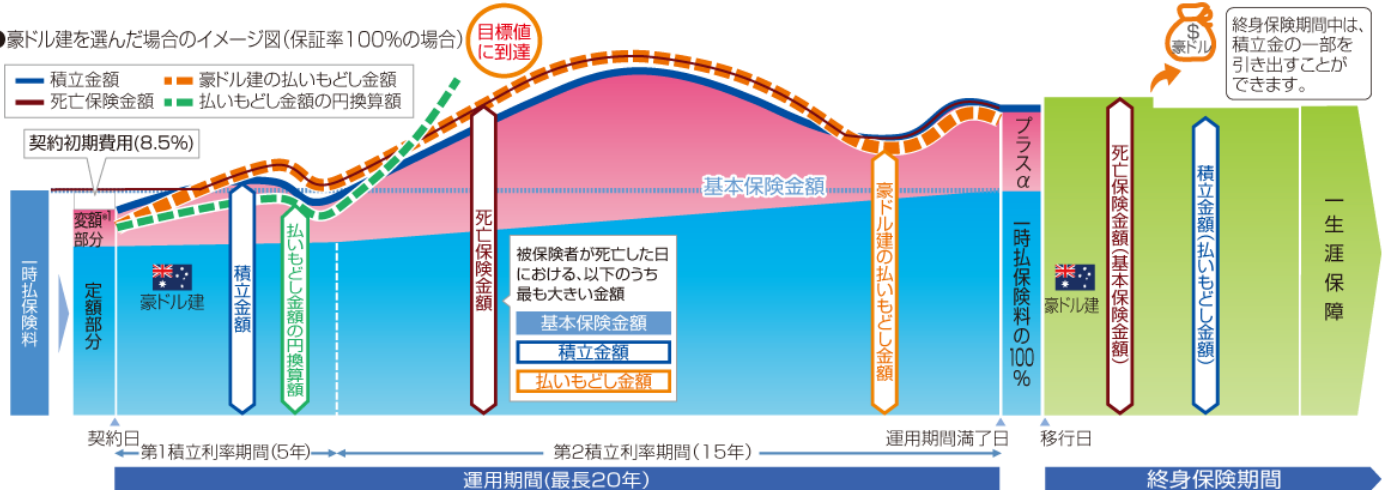
運用は、市場環境に応じて、積極的に収益の獲得を目指す「変額部分」と、ご契約時に適用された積立利率で必ず「定額部分」に分かれて運用されます。

特長3 目標値の指定

目標値を指定することができます。目標値に到達した場合、早期に終身保険へ自動以降します。

*下記詳細を参照

●豪ドル建を選んだ場合のイメージ図(保証率100%の場合)



*1 特別勘定繰入日に一時払保険料のうち変額部分の金額を特別勘定へ繰り入れます。
 ※記載の図はイメージ図であり、将来の積立金額、死亡保険金額、解約時の払いもどし金額などを保証・予測するものではありません。

【目標値(ターゲット)の指定について】

目標値は下記の3つの方法から指定できます。(目標値を指定しないこともできます。目標値の指定ができるのはご契約時のみです。また、ご契約時の目標設定通貨および目標値の変更はできません)

目標設定通貨	目標値	目標に到達したとき
① 円 	払いもどし金額の円換算額 = 一時払保険料× 105% 、 もしくは 110%~200% (10%単位)	円建の 終身保険 へ 自動移行
② ご契約時の選択通貨 	外貨建の払いもどし金額 = 基本保険金額× 110%~150% (10%単位)	外貨建の 終身保険 へ自動移行 円建の 終身保険 へ変更する ことも可能
③ ダブルターゲット(①②両方) 	①、②の 両方 を目標とする。 (※同一の到達判定日に両方の目標に 到達した場合は、円でのみ目標に 到達したものとみなします。)	目標に到達した通貨の 終身保険 へ自動移行

このプレスリリースに記載の商品をご契約いただくにあたり、特にご注意いただきたい事項

■ご注意いただきたい事項

本保険商品は、運用期間中の積立金額、解約時の払いもどし金額などが、特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額保険です。ご契約を解約した場合の払いもどし金額などが一時払保険料を下回る場合があります。本商品のご検討にあたっては、商品のリスク・諸費用等の注意事項をお読みいただくとともに、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をよくお読みいただき、内容を十分にご理解ください。

■諸費用について

この保険には、お客さまにご負担いただく費用がございます。

投資リスクについて

特別勘定資産は、株式、REIT、商品（コモディティ）、通貨などで運用されるため、運用実績が積立金額、死亡保険金額、解約時の払いもどし金額などの変動（増減）につながります。株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、保険全体の積立金額、解約時の払いもどし金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失を生じるおそれがあります。

解約する場合のリスクについて

運用期間中の定額部分について市場価格調整を行うこと、変額部分について投資リスクがあること、ご契約の締結の際に契約初期費用を控除することなどの理由により、解約時の払いもどし金額などが一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。

為替リスクについて

お受取り時の為替レートによって円に換算した死亡保険金額、積立金額、解約時の払いもどし金額などが、ご契約時の為替レートによって円に換算した一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。

諸費用について

■この保険では、次の各費用の合計額をお客さまにご負担いただきます。

■一時払保険料を外貨でお払込みになる際には、銀行への振込手数料などをご契約者にご負担いただく場合があります。また、死亡保険金、解約時の払いもどし金額などを外貨でお受け取りになる際には、取扱金融機関により諸手数料などの実費をご負担いただく場合があります。（諸費用は取扱金融機関によって異なります。）

ご契約時

項 目		費 用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料（基本保険金額）に対して 8.5%	ご契約の締結の際に、一時払保険料から控除します。

運用期間中（定額部分）

積立利率の計算にあたっては、ご契約の維持などに必要な費用および死亡保険金をお支払いするための費用をあらかじめ差し引いています。

項 目		費 用	ご負担いただく時期
運用関係費	投資法人の手数料など、特別勘定の運用に必要な費用	平均純資産総額に対して年率最大 0.9%	特別勘定にて利用する投資法人における平均純資産総額に対して左記割合(率)を乗じた金額の 1/365 を毎日、投資法人の純資産総額から控除します。

前記の上限率を超える費用は投資法人の管理会社が自発的に負担します。ただし管理会社が自発的に負担する費用には、ルクセンブルグ年次税以外の税金、仲介手数料および借入利息は含まれません。

終身保険期間中

終身保険期間中の死亡保険金額は、ご契約の維持などに必要な費用および死亡保険金をお支払いするための費用を控除する前提で算出されています。これらの費用については、移行日における被保険者の年齢および性別に応じてその時点の基礎率にもとづいたものとなるため、ご契約時には定まっておられません。

項 目		費 用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して 1.0%	年金支払日に、責任準備金から控除します。

※年金管理費は、将来変更される可能性があります。

通貨の換算にかかる費用

一時払保険料、死亡保険金額、解約時の払いもどし金額などを、円から選択通貨、選択通貨から円にそれぞれ換算する際の為替レートには為替手数料が反映されており、当該手数料はお客さまのご負担になります。TTM(対顧客電信売買相場仲値)はアクサ生命所定の金融機関が公表する値となります。具体的な為替レートは、次のとおりと

保険料円入金特約の為替レート	TTM(対顧客電信売買相場仲値)+50 銭
目標値判定の為替レート	TTM(対顧客電信売買相場仲値)-50 銭
円建保障変更特約の為替レート	
円支払特約の為替レート	
年金払特約(15)の為替レート	

※上記の為替レートは、将来変更される可能性があります。